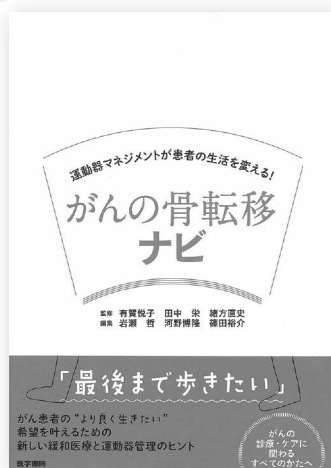


今月の特集関連本 ⑪



運動器マネジメントが患者の生活を変える！

がんの骨転移ナビ

有賀悦子、田中 栄、緒方直史＝監修

岩瀬 哲、河野博隆、篠田裕介＝編

本体 3,800 円＋税／B5 判・312 頁／医学書院／2016

日本整形外科学会の 2018 年テーマは「がんとロコモティブシンドローム」。サバイバーの QOL はもちろん、がん治療の適応をも左右する運動機能にどうアプローチするのか。「ロコモチャレンジ！推進協議会」からメッセージが届いています (p.1272)。

体力が低下しているがん患者、特に骨転移を起こした患者にこそ、運動機能を維持し、ADL や QOL を保つための運動器管理が何より重要です。本書はチームアプローチの視点から、“がん患者の運動器マネジメント”をキーワードに、実践的な運動器管理の方法、在宅を含むリハビリテーションのアプローチ法についてわかりやすく解説しています。